

平成 16 年度 経営方針

・認識すべき経営環境

我が国経済は、企業収益や生産活動に持ち直しの動きが見られるものの、個人消費が弱含みで推移するとともに、円高の進行や長期金利の上昇など、依然、不透明感が払拭されておらず、デフレ克服と景気回復に向け、金融・税制などの経済諸施策の速やかな実施が望まれる。しかしながら、中長期的には、産業のグローバル化や少子高齢化の進展など、産業・社会構造の転換が進むことから、低成長で推移せざるを得ないものと見込まれる。

北陸地域についても、総じて厳しい状況が続いているものの、北陸新幹線などの社会資本整備が着実に進展するとともに、産学官の連携による産業活性化に向けた取組みが進むなか、環日本海交流のゲートウェイ機能を果たす重要な地域として期待される。

電気事業においては、発送一貫体制のもと安定供給を確保しつつ競争環境を整備するとの基本的考えに基づき、15 年 6 月に改正電気事業法が成立し、現在、総合資源エネルギー調査会・電気事業分科会において、16 年 4 月からの電力小売自由化範囲の段階的拡大、送配電部門の透明性・公平性を確保するための中立機関や全国規模の卸電力取引所の創設など、新たな制度の詳細設計に関する審議が進められている。

さらに、近年、企業の不祥事や事故・トラブルが相次ぐなか、コンプライアンスや環境対策、情報開示などの企業の社会的責任が重要視されており、原子力に対する社会的な信頼や安心感の醸成など、地域社会との信頼構築に向けた積極的な取組みが要請されている。

・経営の重点事項

こうしたなか、北陸地域の電力需要も中長期的に緩やかな伸びに留まるものと見込まれるとともに、現在進められている電気事業の制度改革により、市場競争がさらに激化するものと覚悟しておかなければならない。

厳しさを増す経営環境を乗り切るには、総合的な競争力の強化が不可欠である。このため、自由化範囲の拡大に対応し、個別提案型「技術営業」の充実など販売力の強化を図るとともに、聖域なきコスト削減と設備・業務効率の向上を柱とする諸改革を加速・断行する。

また、企業活動を行うには、地域社会からの信頼や安心が何よりも重要である。このため、引き続きお客さまに良質な電気をお届けすることはもとより、コンプライアンスや競争ルールの遵守、地域活性化への取組みなど、企業の社会的責任を積極的に果たしていく。とりわけ、志賀原子力 1 号機については、今回の全面的な点検実施を踏まえて安全・安心の確保に万全を期すとともに、2 号機についても、運転開始に向けて着実に建設と諸準備を推進する。

さらに、地球温暖化防止の観点からも、これらの原子力の推進を図るとともに、新エネルギー利用目標の達成に向けて、風力や木質バイオマスなどの開発についてもさらなる取組みを進める。

以上、これら諸活動の推進にあたっては、従業員一人ひとりの意識改革に基づく実践力の向上が不可欠であり、変わらぬ使命感と誇りのもと、難局に立ち向かう気概と活力ある企業風土の構築を目指す。

当社にとって 16 年度は、自由化範囲の拡大と志賀原子力 2 号機の運転開始が重なる 17 年度に向けた経営改革の総仕上げの年である。このため、「Power & Intelligence でゆたかな活力あふれる北陸を」の企業理念に基づき、北陸電力グループの総合力を結集し、「2005 委員会」のもと、以下の重点事項の達成に向けて迅速果断に取組み、「低廉・良質・安定・クリーン」な北陸電力ブランドのさらなる充実を期す。

1. 電力自由化を勝ち抜く販売活動の展開
2. コストダウンの確実な推進による競争力の強化
3. 企業の社会的責任への取組みと活力ある企業風土の構築

重点事項

1. 電力自由化を勝ち抜く販売活動の展開

(1) 自由化拡大に適応した販売力の強化

販売体制の充実による販売活動の強化

個別提案型「技術営業」の強化

- ・ お客さまニーズを捉えたエネルギーコンサルティングやソリューションの提供
- ・ 機動的な技術支援体制の構築と専門技術力の向上

自由化制度変更への取組み

- ・ 卸電力取引所への適切な対応
- ・ 競争ルールの遵守徹底

お客さまニーズを踏まえた料金メニューの多様化

(2) 快適生活をご提案するオール電化住宅の推奨

工務店等との連携強化による新築・リフォーム時の電化推奨・提案

集合住宅オーナー等とのネットワーク充実・強化による電化集合住宅の普及拡大
エンドユーザーへの効果的な推奨活動の展開

(3) 効果的な企業誘致活動の推進

地域特性を踏まえた絞込みによる重点的アプローチの展開

自治体や関係諸団体との緊密な連携

(4) 販売支援の充実

販売活動に資する情報・教育の充実

ブランド・イメージの向上

- ・ 効果的な広報・広聴活動の展開

2. コストダウンの確実な推進による競争力の強化

(1) 業務効率化の更なる推進

企業体質の強化を目指した人事・労務諸制度の見直し

事業環境の変化に即した本店管理部門の見直し

諸経費の徹底的な見直し・削減

コスト低減と実用化に資する技術研究開発の推進

(2) 設備・資産効率の向上

設備コストの更なる削減

- ・ 設備保全基準の見直し
- ・ 設備保守などの業務効率化

資機材調達価額の着実な低減

低利用資産の積極的活用

(3) グループ会社の経営基盤強化に向けた体制整備

グループ会社の事業見直し

市場競争力強化に向けたコストダウンの推進

3. 企業の社会的責任への取組みと活力ある企業風土の構築

(1) 原子力への信頼と安心感の醸成

- 志賀原子力1号機の安全・安定運転の徹底
- 志賀原子力2号機の着実な建設と運転開始に向けた諸準備の推進
- 透明性の確保を目指した情報公開の推進
- 原子燃料サイクルに対する理解活動の推進

(2) 環境保全に向けた取組み強化

- 風力や木質バイオマスなどの新エネルギー開発の推進
- 資源リサイクルなど3Rの積極的な推進
[Reduce(廃棄物の発生抑制), Reuse(再使用), Recycle(原材料としての再利用)]
- ・ 石炭灰やプラスチック, オフィス古紙のリサイクルやごみゼロ推進
- ・ 環境セミナーの実施など環境教育の推進
- 省エネルギー活動の推進

(3) 良質な電力供給の維持

- 効果的な供給信頼度対策の実施

(4) 地域社会活性化への取組み支援

- 産学官連携による産業活性化への支援
- 地域新エネルギー開発への支援

(5) 競争を勝ち抜く企業活力の向上

- 実践力を重視した意識・行動改革
- ・ 部門横断的な取組みによる迅速な課題解決と事業環境認識の共有化
- ・ 管理監督者によるリーダーシップの発揮と率先垂範
- 新しい競争環境下での全従業員による競争ルールの遵守とコンプライアンスの徹底
- 実践力・専門能力の向上を目指した人材育成の推進
- 保守技術力の維持・強化とヒューマンエラーの防止徹底
- 心身両面の健康づくりと作業安全・交通安全の徹底

上記重点事項の実践にあたっては、「こたえていく。かなえていく。北陸電力」のブランディング・メッセージのもと、北陸電力グループ労使が相協力し、厳しい競争時代を勝ち抜く。

以 上